

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域行事に参加したり、日常的な交流がはかりにくい点がみられる	立地的な条件から、日頃の交流が図りにくい面はあるが、地域の会等に参加し交流を深める機会を持つ。	地域の運動会や地域の除草作業などの計画を確認し利用者も含め参加したい。	12ヶ月
2	4	運営推進会議の出席者が固定化されており、幅広い意見の収集が得られにくくなっている。	多方面からの意見を聞くうえでも、ホーム行事に合わせる等、開催日時を検討し、入居者家族、地域の役員、近隣からの参加が得られるよう、工夫する。	運営推進会議の開催日時を利用者家族にいつ都合がいいか確認し平日だけでなく土日祝日などにも開催するように工夫する。	2ヶ月
3	35	火災訓練のなかで消防署の立会いの避難訓練が実施できていない。	消防署等、立会いを受ける機会を作り、助言を受けることで、より実践てきな訓練が行われる取り組みができる。消防団や近隣住民等に、訪問してもらい状況を把握してもらうなど、より具体的な連携がとれる。	年2回の火災訓練のなかで消防署、近隣住民の立会いを依頼する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。